

3月27日、墨田区と「地域の見守り活動に関する協定」を締結

コープみらい（本部：埼玉県さいたま市、理事長：新井ちとせ、事業エリア：千葉県・埼玉県・東京都）は3月27日、東京都墨田区（区長：山本 亨）と「地域の見守り活動に関する協定」を締結しました。

墨田区との地域の見守り活動に関する協定では、宅配サービス等の業務中に職員が高齢者等の異変に気付いた場合、墨田区高齢者福祉課へ情報提供いたします。一刻を争う緊急事態であることが明らかなき場合は、警察や消防等に速やかに通報いたします。この取り組みにより、地域で発生するさまざまな問題の早期発見につなげ、高齢者の安全・安心な生活を支援します。

コープみらいでは、これまで自治体が行う地域の見守りネットワークに参加・登録をしております。今回の墨田区との協定締結により、コープみらいの事業エリア（千葉県・埼玉県・東京都）170自治体※のうち、協定締結数は162自治体となります。今後も、見守り活動に積極的に参加し、地域に密着した事業や活動を広げてまいります。

※東京都の島嶼部を除きます。

《生活協同組合コープみらい 概要》

- 【住 所】埼玉県さいたま市南区根岸 1-5-5
- 【理 事 長】新井 ちとせ（あらい ちとせ）
- 【組 合 員 数】337万人（2017年2月20日現在）
- 【総 事 業 高】3,803億円（2015年度）
- 【事業エリア】千葉県、埼玉県、東京都
- 【ホームページ】<http://mirai.coopnet.or.jp/>

自治体との見守り協定等の締結の状況について

東京都墨田区との見守り協定を含め、協定締結自治体は3月27日現在162自治体(全自治体の95%)となります。

	自治体数	締結		
		2015年度末 (2016年3月20日)	2017年 3月27日	締結率
千葉県	54	54	54	100%
埼玉県	63	47	59	94%
東京都	53*	39	49	92%
合計	170	140	162	95%

※ 島嶼部を除いています。

1. 各事業所での高齢者などの救護の対応について

2016年度の事故事件速報での「救護」関係の報告件数は116件で、昨年度より30件増加しました。

救護案件等の月度別発生件数

	4月	5月	6月	小計	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	小計	1月	2月	3月	小計	年計
13年度	3	2	1	6	3	3	6	12	2	2	4	8	4	3	0	7	33
14年度	3	4	12	19	6	12	9	27	7	6	11	24	11	8	7	26	96
15年度	6	6	6	18	11	10	9	30	2	4	7	13	10	9	8	27	88
16年度	7	8	7	22	9	12	4	25	8	13	18	39	17	9	4	30	116

《コープデリ宅配での最近の通報事例》

- ・デイリー商品をお届けに伺ったところ、昨日配達した商品が手付かずで残っており、昨日から電話も繋がらない状態。昨日伺った際も回収容器が出されておらず、雨戸も閉まったままだったため、異常を感じて地域包括センターへ連絡。地域包括センターの担当者と救急隊員が来訪し、家の中におられることを確認し、病院に搬送した。
- ・職員が、配達途中に座り込んでいる70歳代の男性を発見。声を掛けても返事が出来なかった状態だったので救急車を要請した。
- ・配達担当者がシルバー登録の組合員宅へ伺ったところ、組合員は『ここはどこかしら?』等認知症の症状があり、見守り協定先の福祉課へ連絡して引き継ぎを行った。
- ・店舗入口脇のクリーニング店の前に設置してあるベンチで、横になっている80歳位の女性がいたので、パート職員が声をかけたところ、「疲れただけなので、大丈夫」との返事だった。パート職員から報告を受けた店長がしばらく様子を見ていたが、やはり様子がおかしいので、声をかけたところ、意識がはっきりしていない様子だったので、救急車を呼んだ。